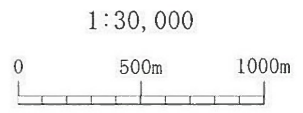


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平26情複、第211号)」



凡例

—	断層
.....	伏在断層
▲▲▲	地質体・コンプレックスの境界
30E / 60	面構造（へき開面など）の走向傾斜（偏角未補正）
30E / 60	断層面の走向傾斜（偏角未補正）
Loc	詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
□	表示範囲

凡例

第四紀	完新世	新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世	低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
		中位段丘堆積物	tm	礫、砂及び泥
ペルム紀 中～後期	超丹波帯	上月層	Kzx	泥質混在岩及び頁岩（砂岩、チャートを伴う）
		大飯層	Oix	頁岩（砂岩・チャートを伴う）
三疊紀後期	舞鶴層群		Oic	チャート
			Nb	砂岩及び頁岩
ペルム紀	舞鶴帯		Msh	頁岩
			Ysh	頁岩
			Ygs	緑色岩類
		Ymg	変斑れい岩	
		Yu	超苦鉄質岩	

第1.2.3.1.12図 岸谷リニアメント周辺の地質図



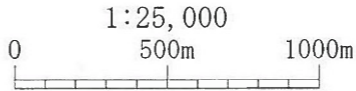
地形面の凡例

tm	中位段丘面
tl	低位段丘面
f	新期扇状地面
dt	崖錐面
a	沖積面
r	人工改変地

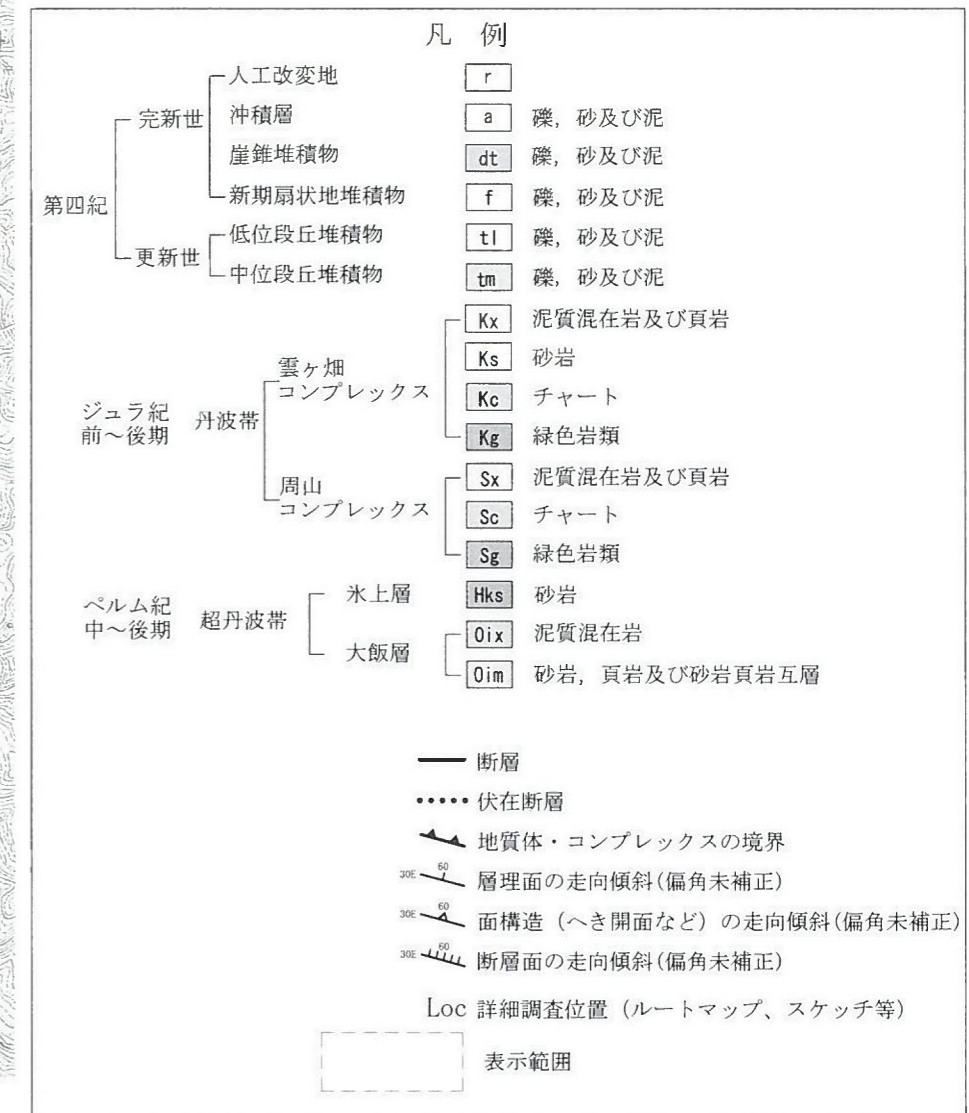
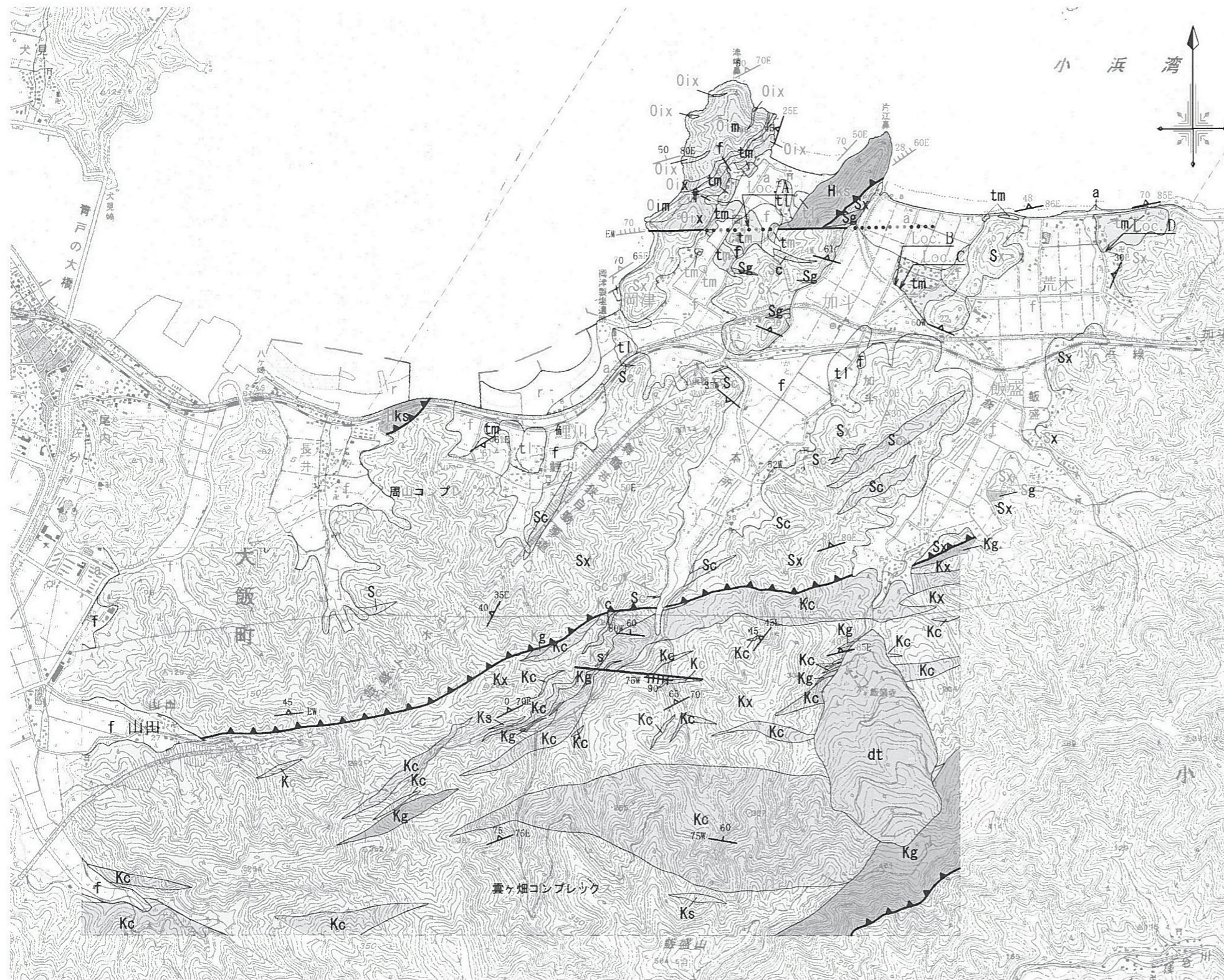
変動地形・リニアメントの凡例

	Dランク
短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。	
	谷の屈曲
I	リニアメント番号
Loc	詳細調査位置 (ルートマップ、スケッチ等)
	表示範囲

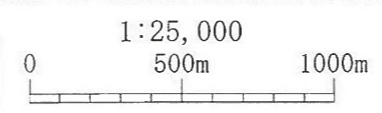
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



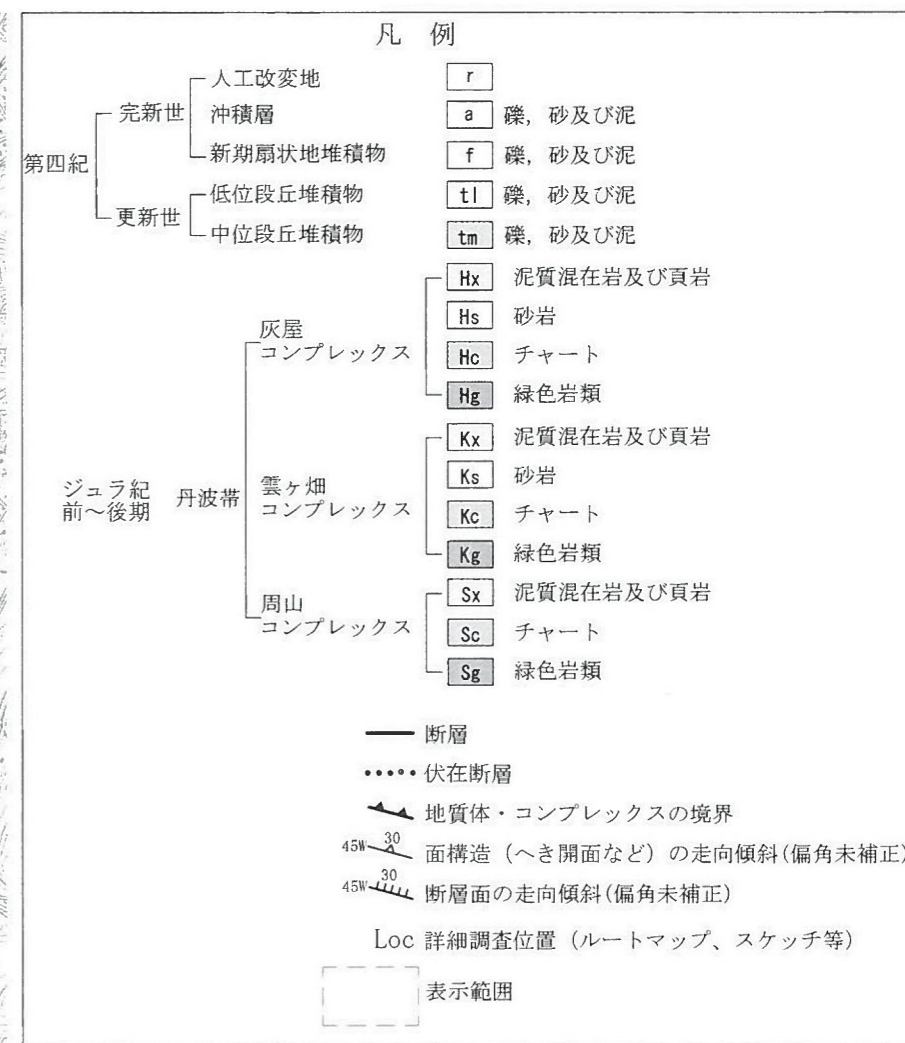
第1.2.3.1.13図 加斗リニアメント周辺の地形調査結果



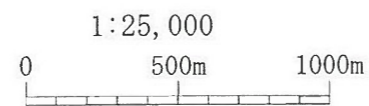
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」



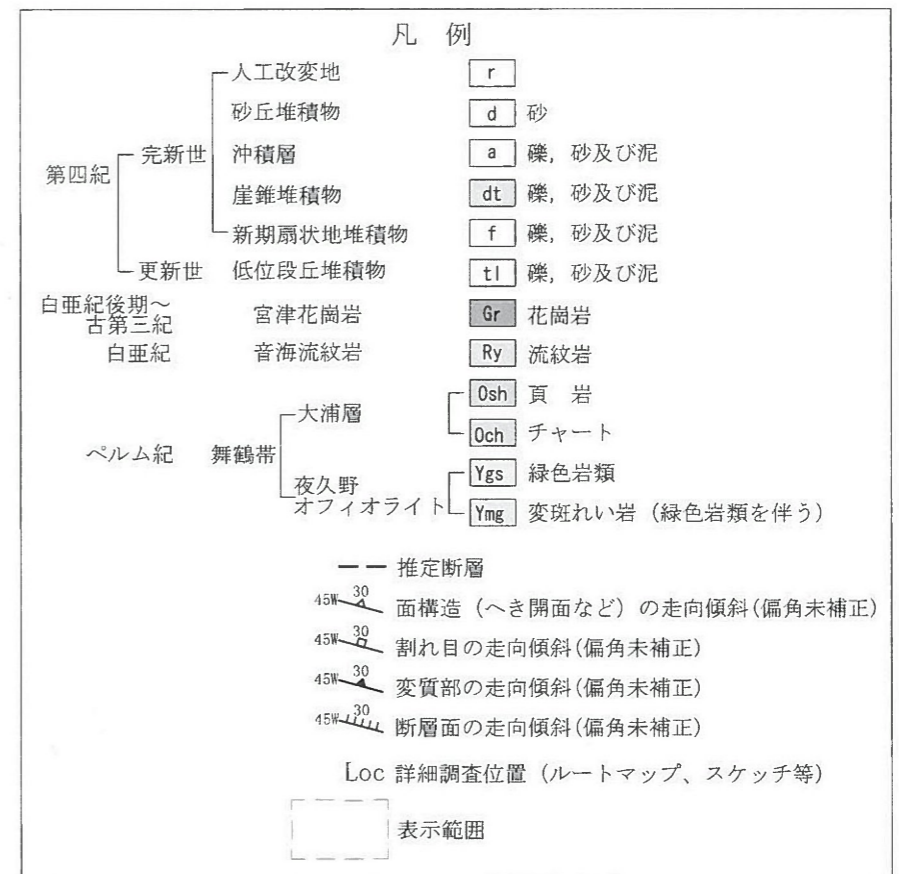
第1.2.3.1.14図 加斗リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」

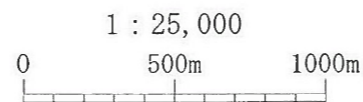


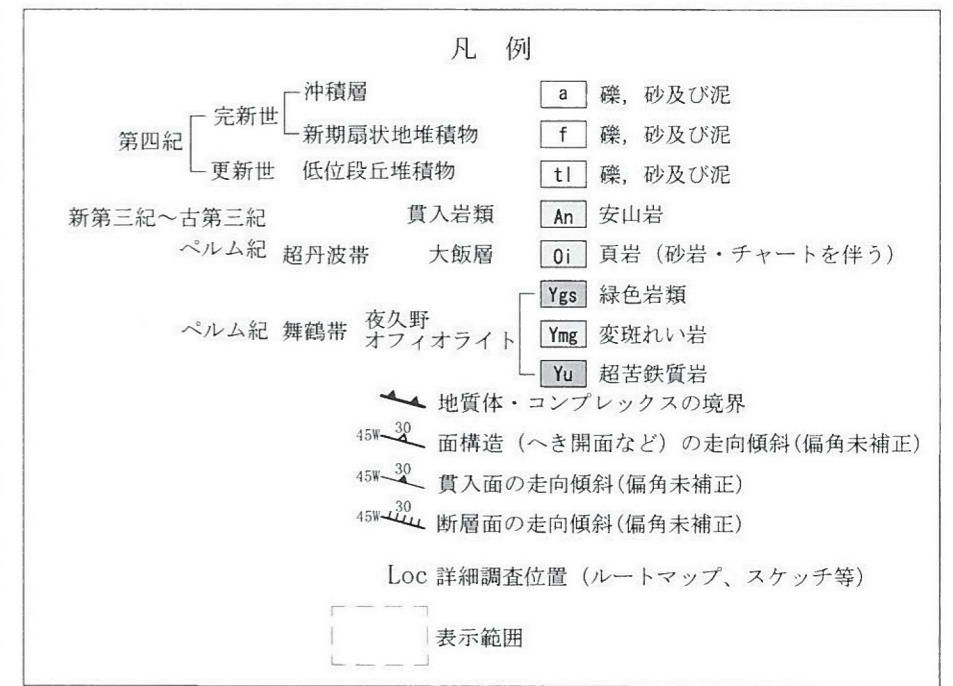
第1.2.3.1.15図 中井リニアメント周辺の地質図



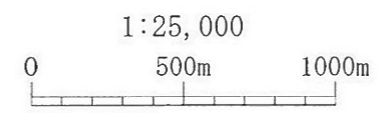
第1.2.3.1.16図 三浜峠リニアメント周辺の地質図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」

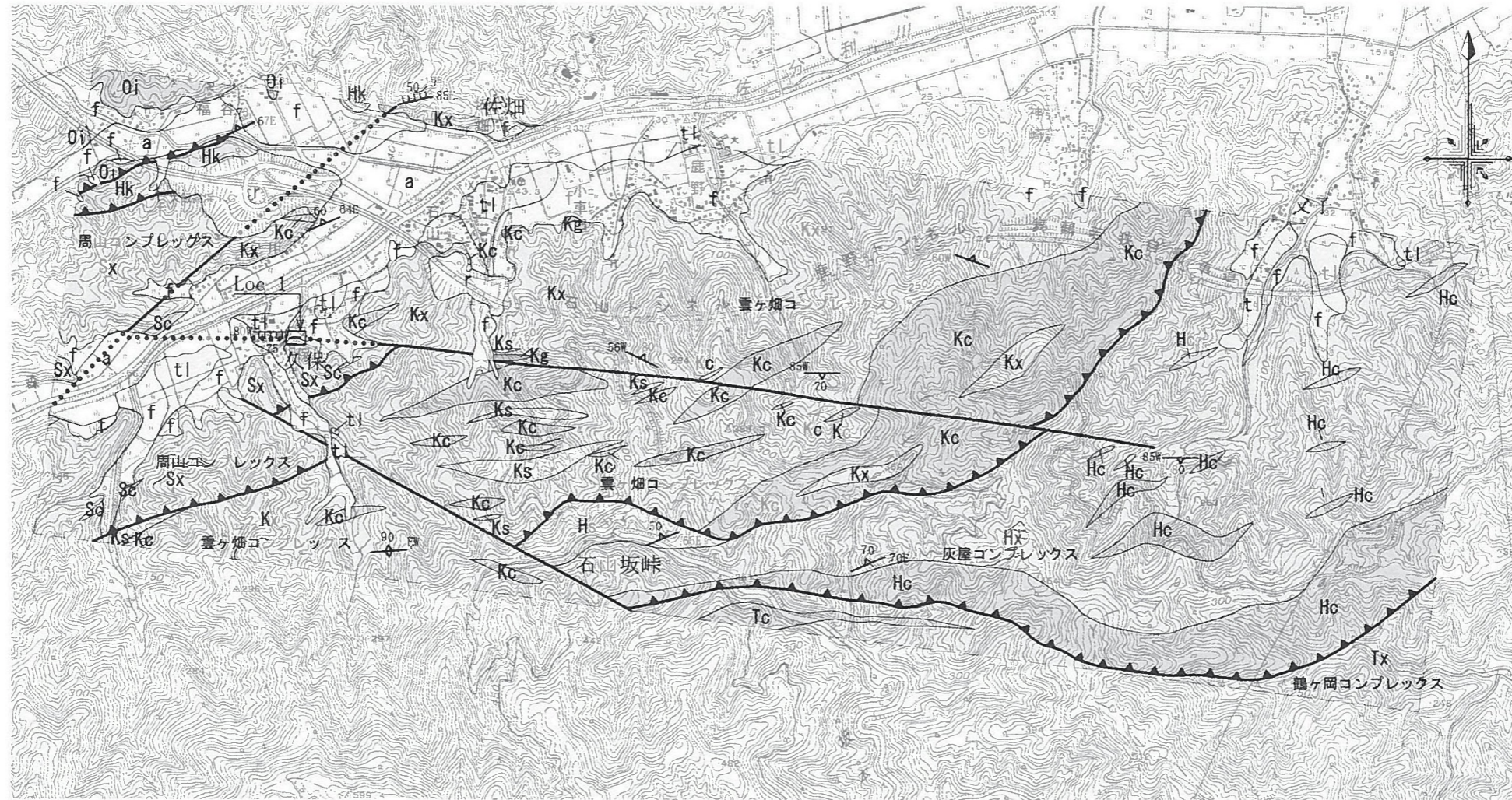




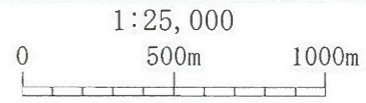
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平26情復、第211号)」



第1.2.3.1.17図 子生リニアメント周辺の地質図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平26情複、第211号)」



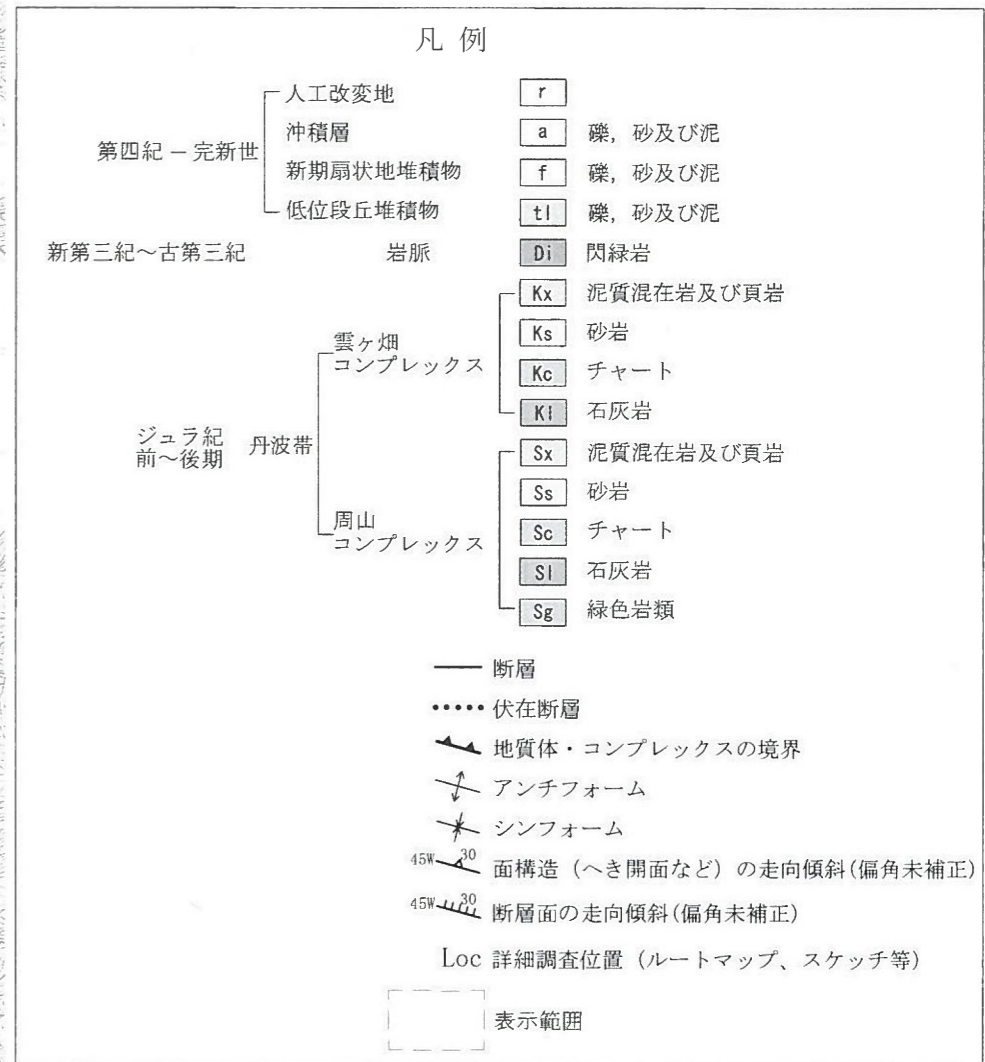
凡例

—	断層
.....	伏在断層
▲▲▲	地質体・コンプレックスの境界
$\frac{30^\circ}{60}$	面構造（へき開面など）の走向傾斜（偏角未補正）
$\frac{30^\circ}{60}$	断層面の走向傾斜（偏角未補正）
Loc	詳細調査位置（ルートマップ、スケッチ等）
□	表示範囲

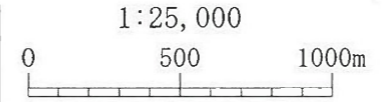
凡例

第四紀	更新世	人工改変地	r	
		沖積層	a	礫、砂及び泥
		新期扇状地堆積物	f	礫、砂及び泥
	更新世	低位段丘堆積物	tl	礫、砂及び泥
ジュラ紀前～後期	丹波帯	鶴ヶ岡コンプレックス	Tx	泥質混在岩及び頁岩
			Tc	チャート
		灰屋コンプレックス	Hx	泥質混在岩及び頁岩
			Hs	砂岩
			Hc	チャート
		雲ヶ畑コンプレックス	Kx	泥質混在岩及び頁岩
			Ks	砂岩
			Kc	チャート
			Kg	緑色岩類
		周山コンプレックス	Sx	泥質混在岩及び頁岩
			Sc	チャート
		ペルム紀中～後期	超丹波帯	氷上層
大飯層	Oi			頁岩（砂岩・チャートを伴う）

第1.2.3.1.18図 石山坂峠北リニアメント周辺の地質図

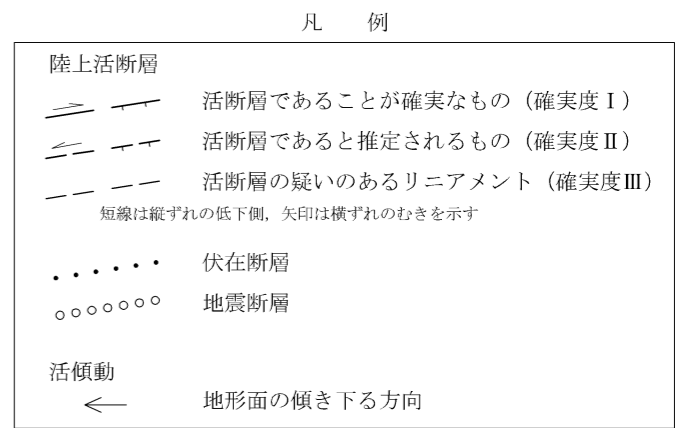
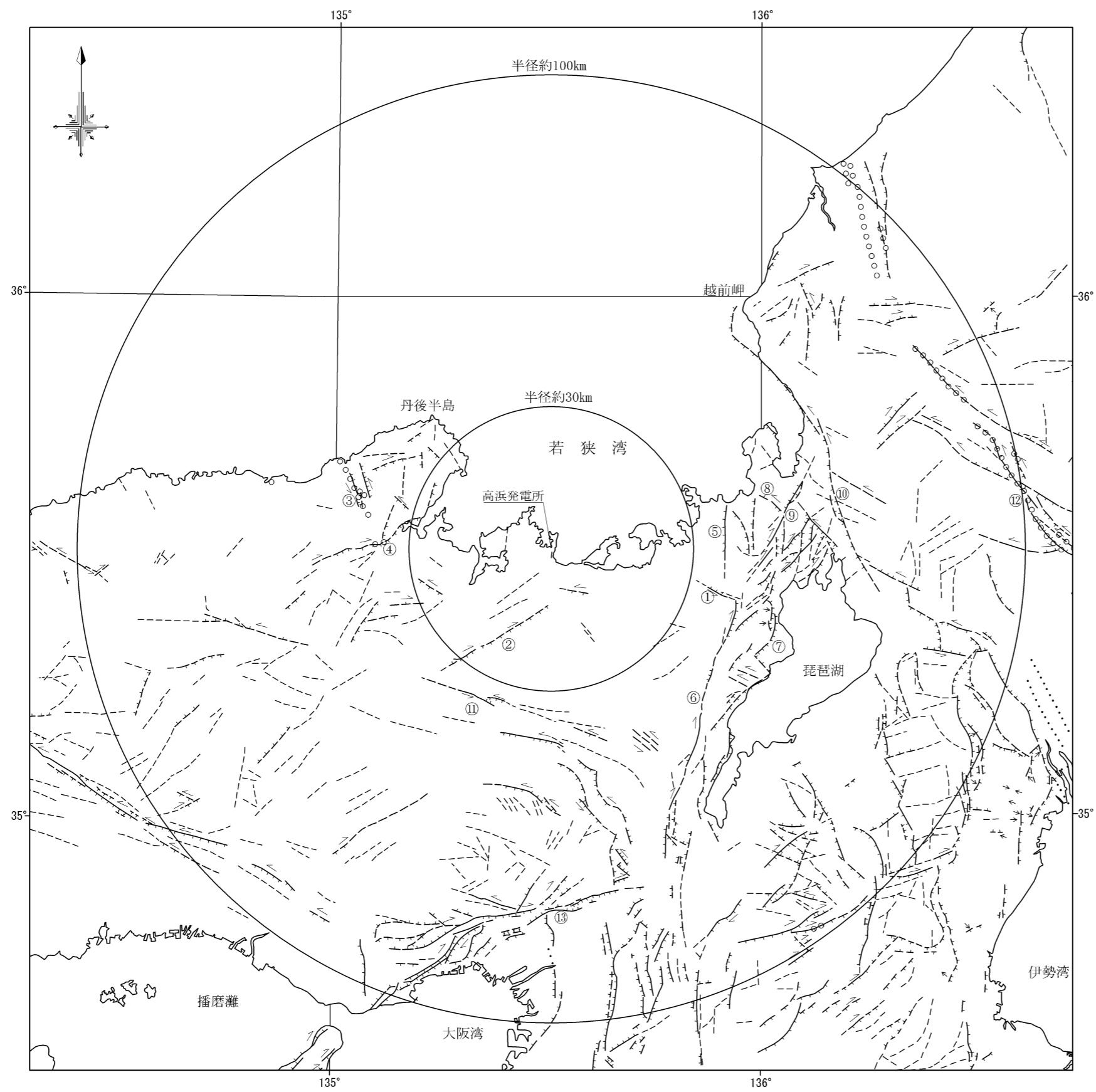


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平26情複、第211号)」

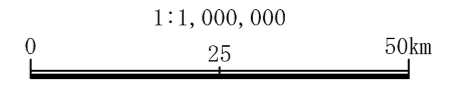


第1.2.3.1.19図 矢代リニアメント周辺の地質図

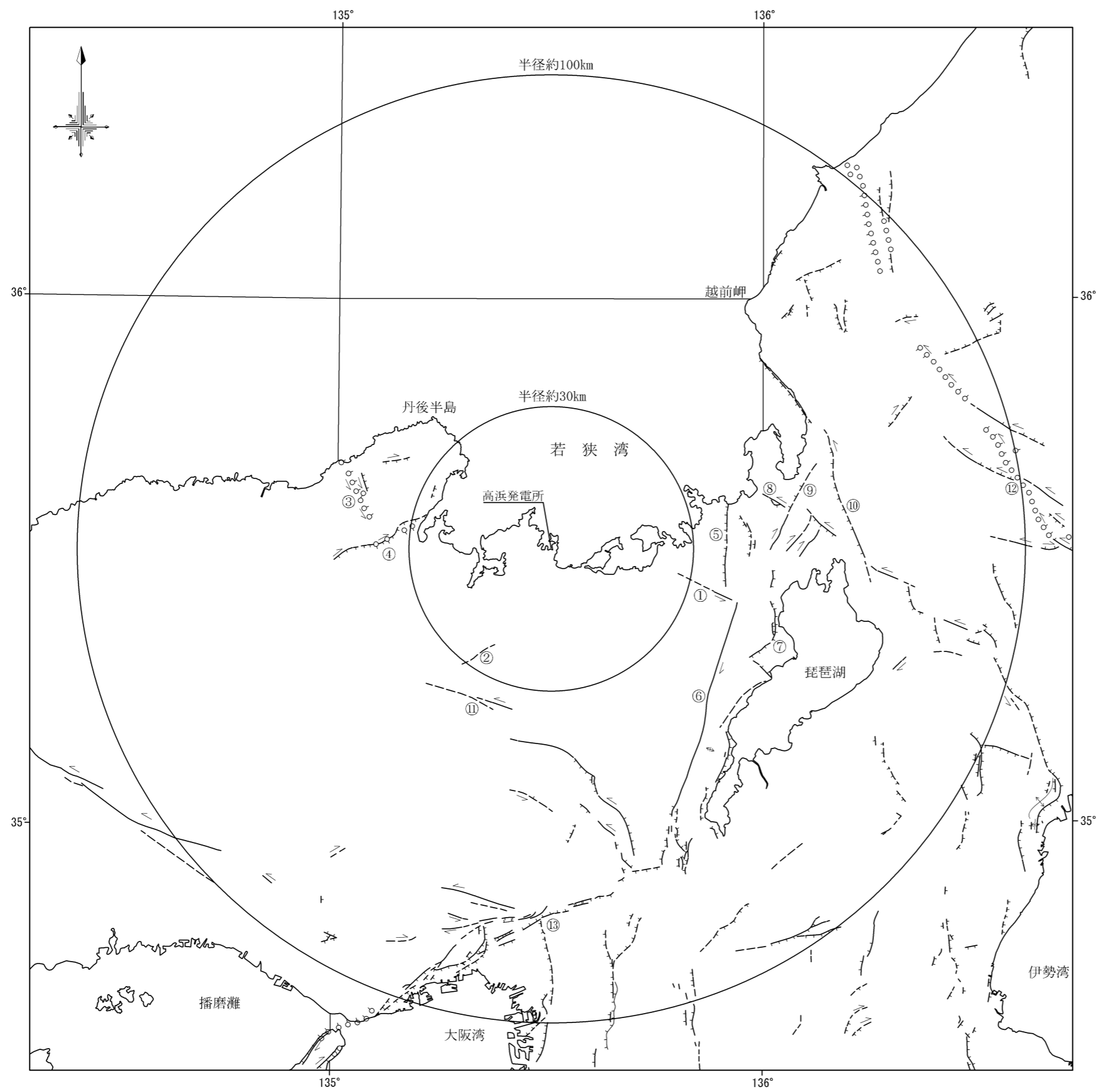




①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線



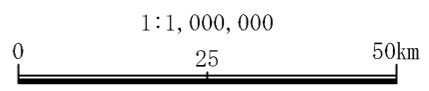
第1.2.3.1.20図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編] 日本の活断層」(半径約100km)



凡 例

○○○○○○	地震断層
———	活断層 (主として第四紀後期に活動したもの)
- - - - -	推定活断層 (同上)
○○○○○○○→	上記の断層における変位の向き (矢印は走向ずれの方向, ケバは落下側を示す)
↖↗	第四紀後期層の背斜軸

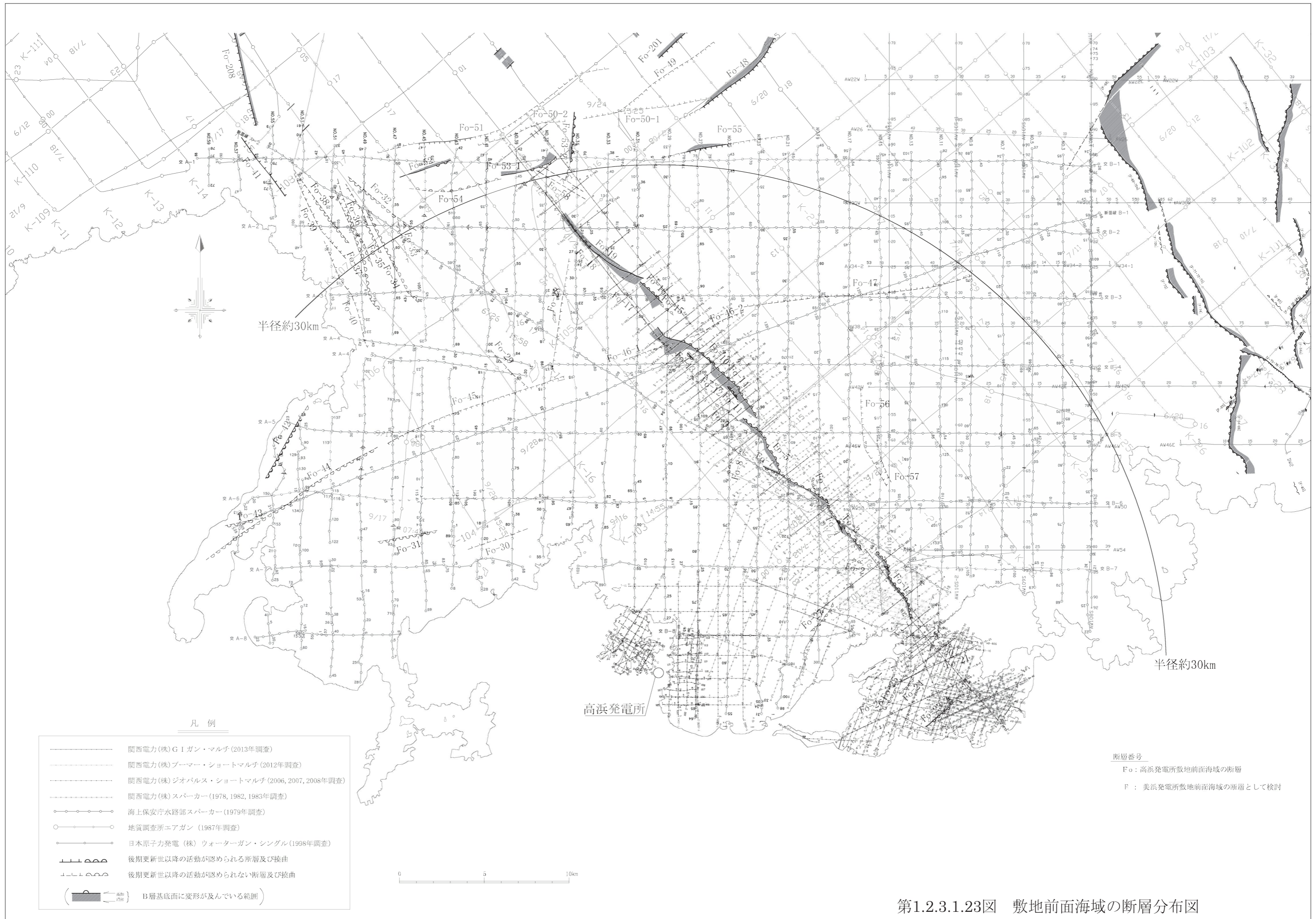
①	熊川断層
②	上林川断層
③	郷村断層
④	山田断層
⑤	三方断層
⑥	花折断層
⑦	琵琶湖西岸断層系
⑧	野坂断層
⑨	敦賀断層
⑩	柳ヶ瀬断層
⑪	三峠断層
⑫	濃尾地震断層系
⑬	有馬-高槻構造線



※『50万分の1活構造図「岡山」「金沢」「京都(第2版)」』より作成

第1.2.3.1.21図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」  
(半径約100km)

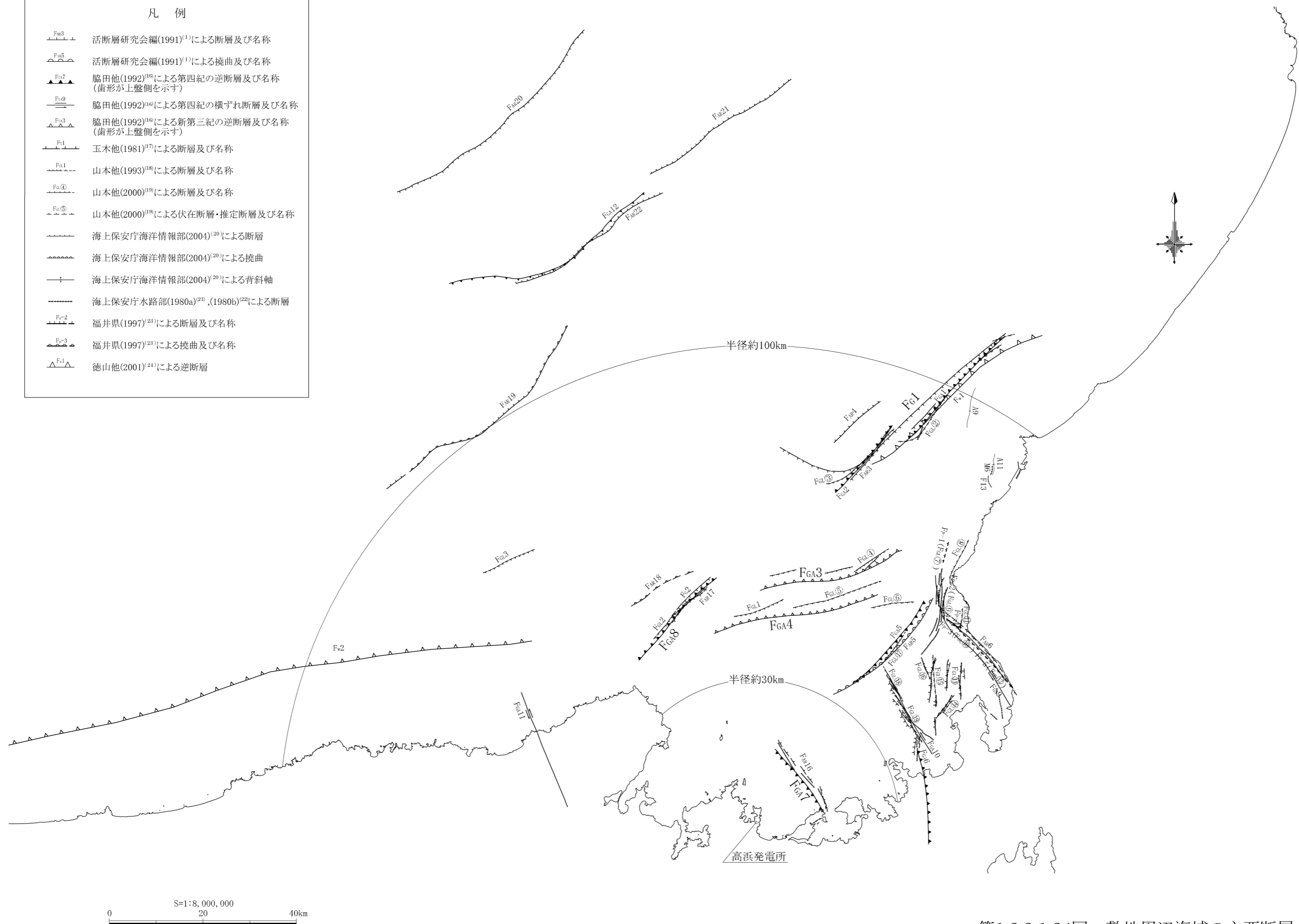




第1.2.3.1.23図 敷地前面海域の断層分布図

凡 例

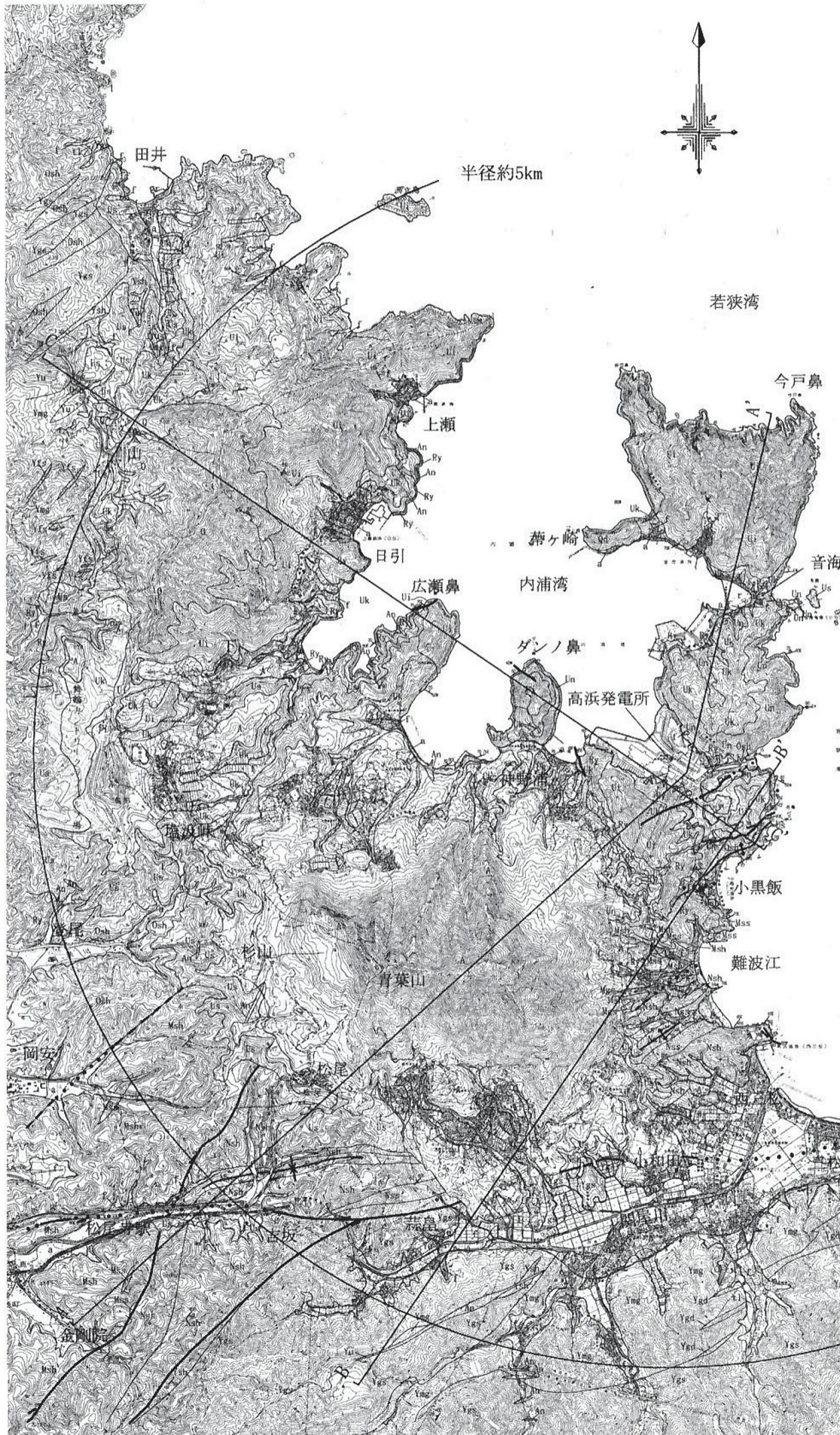
- 活断層研究会編(1991)<sup>(1)</sup>による断層及び名称
- 活断層研究会編(1991)<sup>(1)</sup>による撓曲及び名称
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による第四紀の逆断層及び名称  
(歯形が上盤側を示す)
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による第四紀の横ずれ断層及び名称
- 脇田他(1992)<sup>(16)</sup>による新第三紀の逆断層及び名称  
(歯形が上盤側を示す)
- 玉木他(1981)<sup>(17)</sup>による断層及び名称
- 山本他(1993)<sup>(18)</sup>による断層及び名称
- 山本他(2000)<sup>(19)</sup>による断層及び名称
- 山本他(2000)<sup>(19)</sup>による伏在断層・推定断層及び名称
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による断層
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による撓曲
- 海上保安庁海洋情報部(2004)<sup>(20)</sup>による背斜軸
- 海上保安庁水路部(1980a)<sup>(21)</sup>、(1980b)<sup>(22)</sup>による断層
- 福井県(1997)<sup>(23)</sup>による断層及び名称
- 福井県(1997)<sup>(23)</sup>による撓曲及び名称
- 徳山他(2001)<sup>(24)</sup>による逆断層



第1.2.3.1.24図 敷地周辺海域の主要断層分布図  
1.2.3・86

凡例

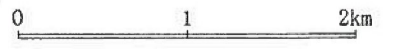
	地質境界線
	断層
	伏在断層
	推定断層
	地質体・コンプレックスの境界
	アンチフォーム
	シンフォーム
	層理面の走向傾斜(偏角未補正)
	面構造の走向傾斜(偏角未補正)
	割れ目の走向傾斜(偏角未補正)
	断層面の走向傾斜(偏角未補正)
	地質断面線



地質凡例

地質時代	記号	地層名等	主要構成地層		
新生代	第四紀	r	人工改変地		
		a	沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土	
		f	新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト	
		t1	低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト	
新生代	新第三紀	A	青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩	
		O	大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Qd	石英閃緑岩	石英閃緑岩	
		Ui	今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Uk	内浦層	泥岩	
		Us	下層		
		Un	神野浦頁岩部層		
中生代	白亜紀	Ry	音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
		Nss	難波江層群	砂岩	
		Nsh		頁岩	
	Nal	砂岩頁岩互層			
	古生代	ペルム紀	UTsh	大飯層 (UT2コンプレックス)	頁岩
			Mss	舞鶴層群	砂岩
			Msh		頁岩
			Mgs		緑色岩類
		Osh	大浦層	頁岩	
		ペルム紀	Ysh	夜久野ワイト	頁岩
Yfs			珪長岩		
Ygd	石英閃緑岩				
Ygs	緑色岩類				
Yng	変斑れい岩				
Yu	超苦鉄質岩				
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩		

「この地図の一部につき、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情複、第259号)」



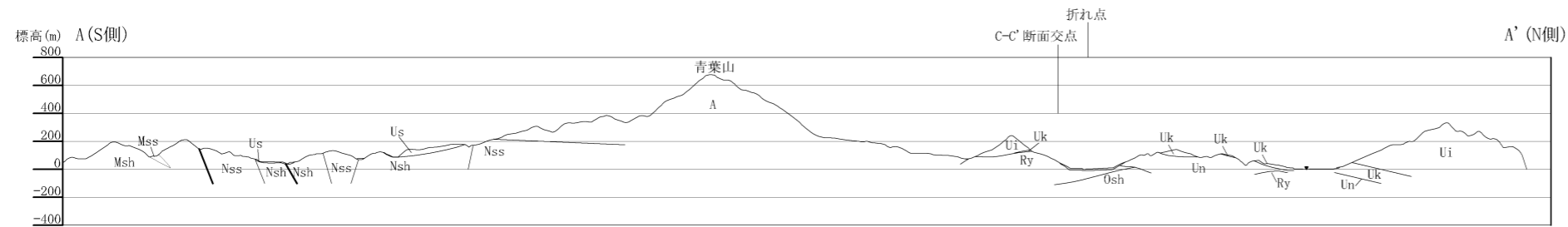
第1.2.3.2.1図 敷地近傍の地質図

地質凡例

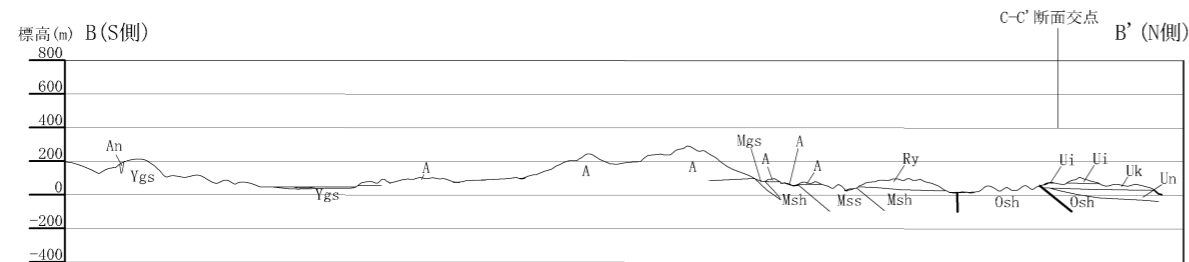
地質時代	記号	地層名等	主要構成地層	
新生代	第四紀	完新世	r 人工改変地	
		a 沖積層	礫, 砂, シルト, 粘土	
		f 新期扇状地堆積物	礫, 砂, シルト	
		更新世	t1 低位段丘堆積物	礫, 砂, シルト
	新第三紀	A 青葉山安山岩類	安山岩, 凝灰角礫岩	
		O 大山安山岩	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Qd 石英閃緑岩	石英閃緑岩	
		Ui 今戸鼻層	安山岩, 凝灰角礫岩	
		Uk 内浦層群	泥岩	
		Us Un 下層	塩汲峠礫岩・砂岩部層 名島火山岩部層	礫岩, 砂岩 安山岩, 凝灰角礫岩
中生代	白亜紀	Ry 音海流紋岩	流紋岩, 流紋岩質凝灰岩	
	三畳紀	Nss	砂岩	
		Nsh	難波江層群	頁岩
		Na1	砂岩頁岩互層	
古生代	ペルム紀	JT sh 大飯層 (UT2コンプレックス)	頁岩	
		Mss	舞鶴層群	砂岩
		Msh	舞鶴層群	頁岩
		Mgs	舞鶴層群	緑色岩類
	Osh	大浦層	頁岩	
	ペルム紀	Ysh	夜久野ファイオライト	頁岩
		Yfs	夜久野ファイオライト	珪長岩
		Ygd	夜久野ファイオライト	石英閃緑岩
		Ygs	夜久野ファイオライト	緑色岩類
		Ymg	夜久野ファイオライト	変斑れい岩
Yu		夜久野ファイオライト	超苦鉄質岩	
新第三紀～白亜紀後期	An	岩脈	安山岩	

断面位置は第1.2.3.2.1図に示す。

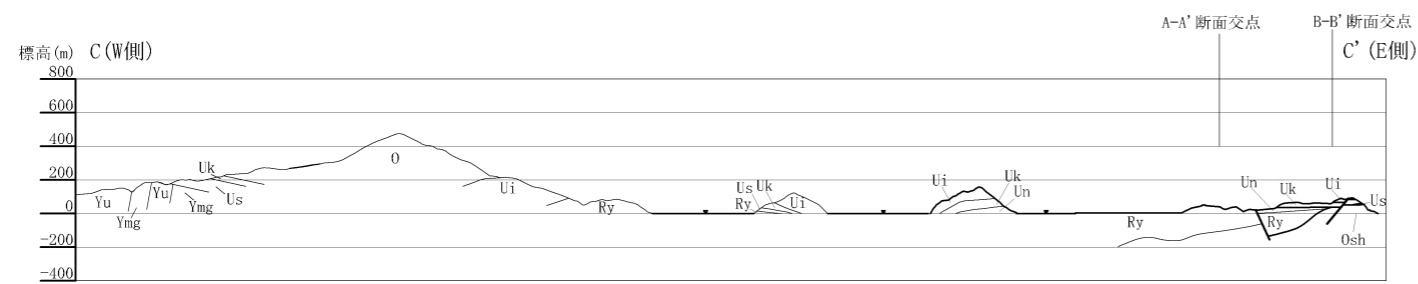
—— 地質境界  
—— 断層



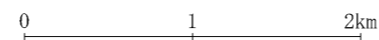
高浜 A-A' 断面



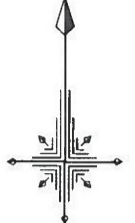
高浜 B-B' 断面



高浜 C-C' 断面



第1.2.3.2.2図 敷地近傍の地質断面図

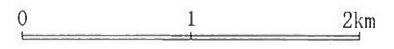


凡例

- tl 低位段丘面
- f 新期扇状地面
- a 沖積面
- r 人工改変地
- Dランクのリニアメント  
短線は低い側を示す。短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。

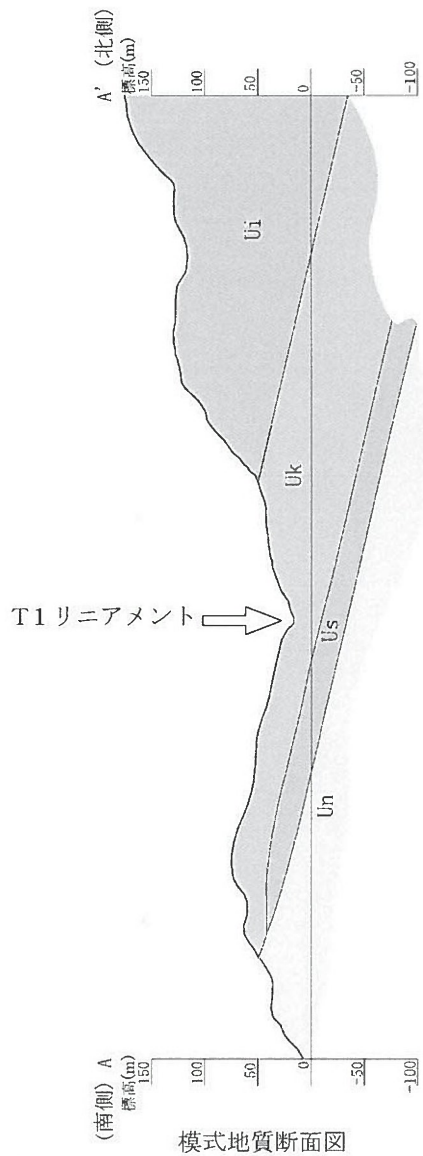
1.2.3.89

「この地図の一部につき、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。  
(承認番号 平26情複、第211号)」



第1.2.3.2.3図 敷地近傍の地形調査結果





凡例

第四紀	完新世	人工改変地	r	
		沖積層	a	礫, 砂, シルト及び粘土
		新期扇状地堆積物	f	礫, 砂及びシルト
新第三紀	内浦層群	今戸鼻層	Ui	安山岩及び凝灰角礫岩
中新世		神野浦頁岩部層	Uk	泥岩
		塩汲峠礫岩・砂岩部層	Us	礫岩及び砂岩
白亜紀		名島火山岩部層	Un	安山岩及び凝灰角礫岩
		音海流紋岩	Ry	流紋岩及び凝灰岩

層理面の走向傾斜 (偏角未補正)  
 断層面の走向傾斜 (偏角未補正)  
 A A' 地質断面線  
 Loc 詳細調査位置

第1.2.3.2.4図 T1 リニアメント周辺の地質図